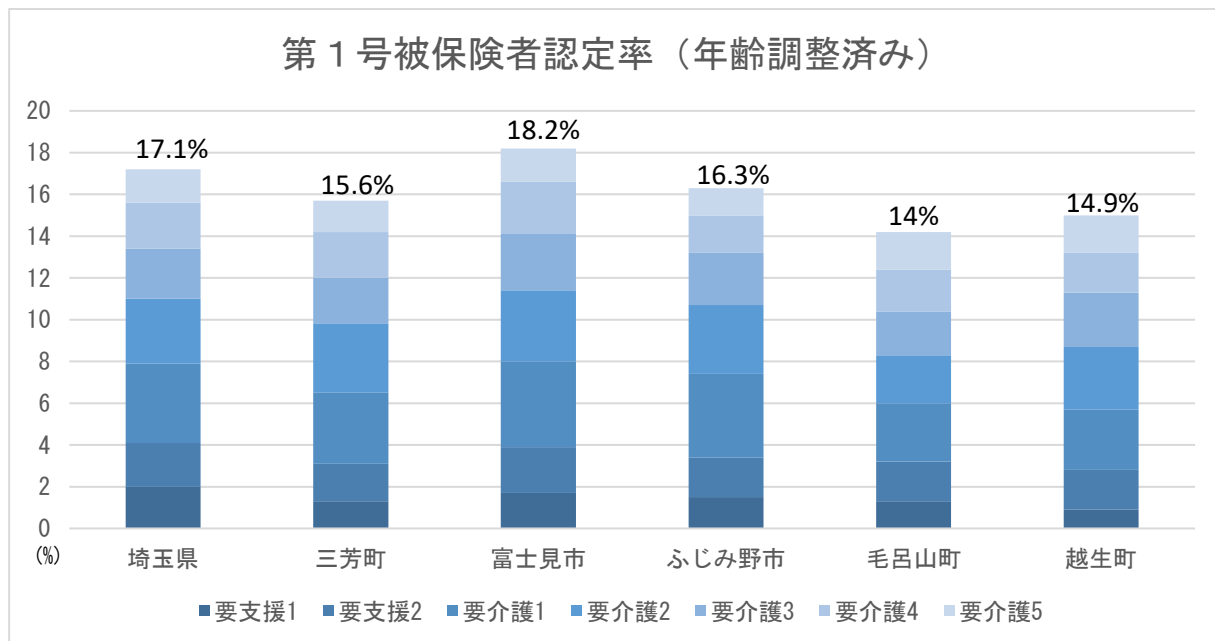


3 三芳町の現状分析

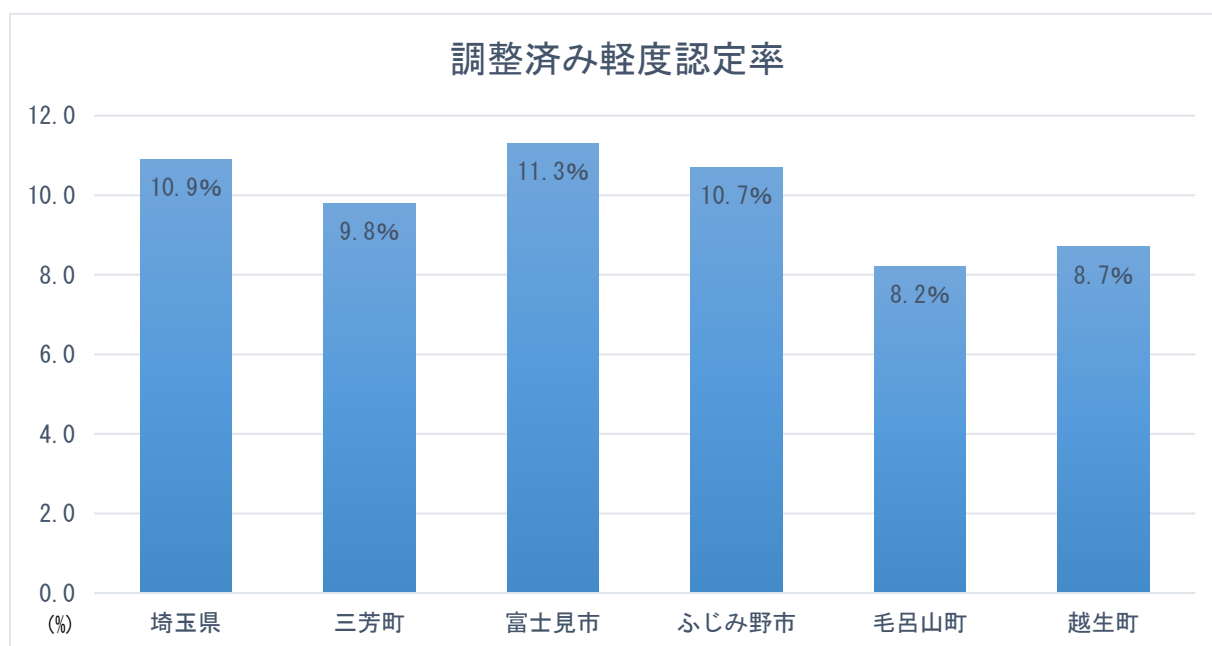
【第1号被保険者認定率】

第1号被保険者年齢調整済み認定率は、県平均及び近隣市と比較すると低いが、毛呂山町、越生町と比較すると高い。



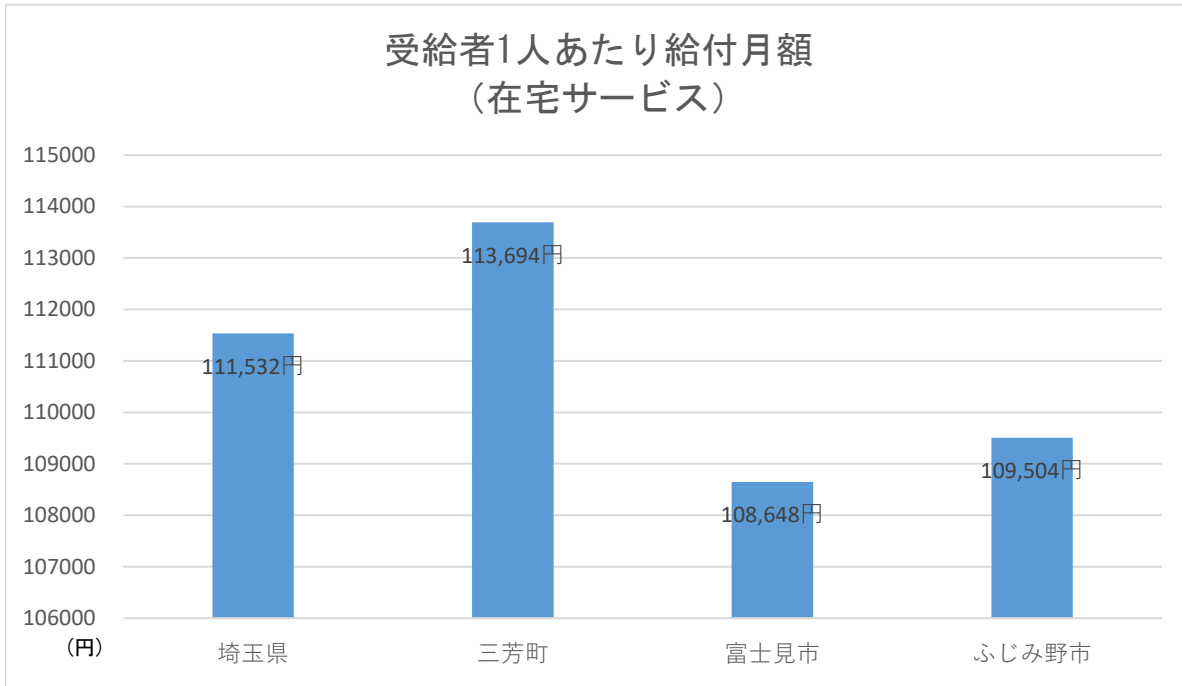
【軽度者認定率】

軽度者（要支援1～要介護2）における年齢調整済み認定率は、県平均及び近隣市と比較すると低いが、毛呂山町、越生町と比較すると高い。



【介護給付（受給者1人あたり給付月額）】

受給者1人あたり給付月額（在宅サービス）は、県平均及び近隣市と比較すると高い。受給者の介護度別での比較でも要支援2、要介護1、要介護2、要介護4の給付月額が県平均と比べて高く、認定の軽度重度にかかわらず全般的に1人あたりのサービスが多く提供されている。経年（平成27年から平成29年）数値の比較でも、同様の傾向がみられた。



【平成29年】

単価：円

	埼玉県	三芳町	富士見市	ふじみ野市
要支援1	1,934	1,543	1,340	1,651
要支援2	4,041	4,307	4,223	4,131
要介護1	24,095	24,617	22,775	23,751
要介護2	26,835	28,796	27,868	28,240
要介護3	23,164	22,518	24,269	22,630
要介護4	17,946	19,632	17,444	16,742
要介護5	13,517	12,281	10,730	12,359
受給者1人あたり給付月額 (在宅サービス)	111,532	113,694	108,648	109,504

【高齢化率の現状】

町は近隣市と比較し、急激な高齢化が進行している。その中でも、75歳以上の後期高齢者が増加しており、平成32年には前期高齢者比率（48.2%）、後期高齢者比率（51.8%）と逆転する見込みである。

	平成29年	平成32年（計画値）
三芳町	27.3%	28.0%
富士見市	24.2%	24.3%
ふじみ野市	24.7%	24.9%

【介護保険基準額】

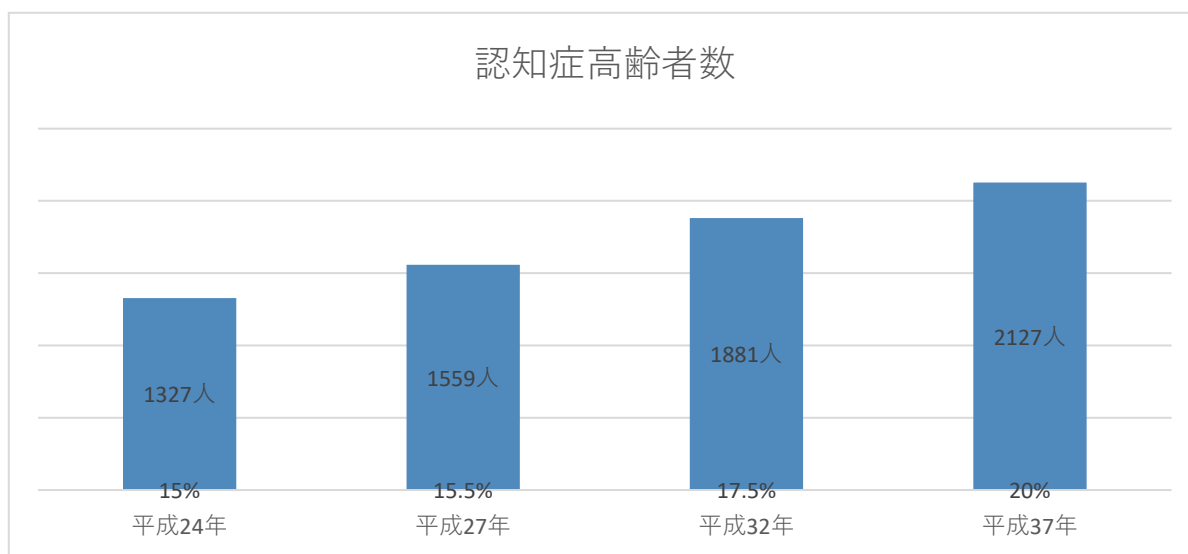
町は後期高齢者が増加しているため、平成30年から平成32年までの介護給付費の増加を見込み、第7期介護保険給付費を算定し、介護保険料基準額を4,700円とした。

単価：円

計画期間	第6期（H24～H26）	第7期（H30～H32）
全国平均	5,514	5,869
県平均	4,835	5,058
三芳町	4,000	4,700

【認知症高齢者数の推移】

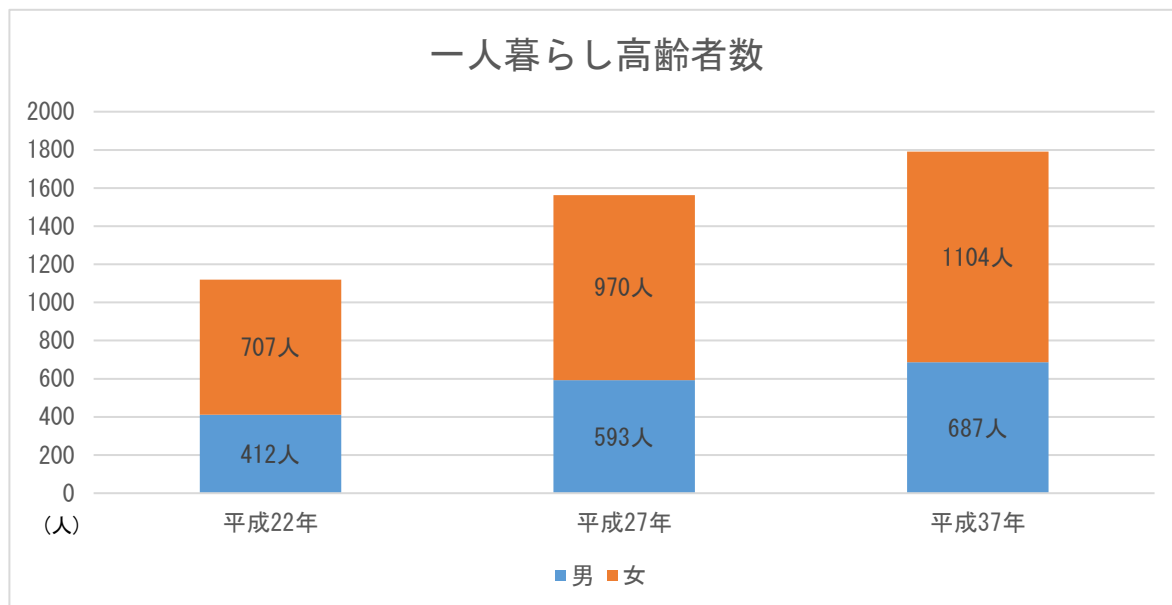
町では、高齢者人口の1割強が要介護（要支援）認定者となっており、その中で、約6割の認定者が「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者となっている。平成24年から比較すると7人に1人の認知症高齢者割合が、平成37年には5人に1人となり約1.7倍に増加すると推計される。



厚生労働省科学研究所費補助金「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」報告書の表4「認知症患者数と有病率の将来推計」に掲載されている認知症患者推定有病率を参考に推計

【一人暮らし高齢者数の推移】

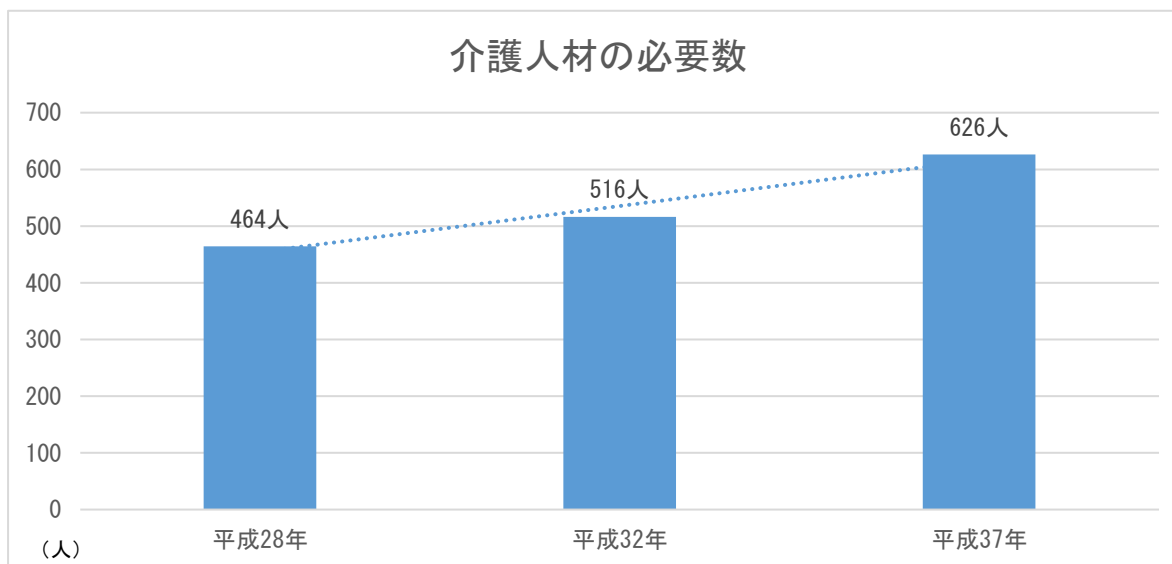
町の世帯数は年々増加しており、高齢者を含まない世帯が減少しているのに対し、高齢者を含む世帯は増加傾向にある。一人暮らし高齢者（世帯主が65歳以上の単独世帯）が増加していくと推計される。



各市町村の推計人口を基に、国立社会保障・人口問題研究所が性・年齢階級別に公表している2025年の各都道府県の単独世帯の世帯主にある割合を参考に推計

【介護人材の必要数の推移】

第7期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、介護人材の需要をした。介護人材数は、介護保険給付の対象となる介護サービス事業所、介護保険施設に従事する介護職員数に介護予防・日常生活支援総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員数を加えたものである。



厚生労働省の提示した、第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数（都道府県別）に基づく推計

【要 因】

三芳町は全国平均等との比較において、認定率及び調整済み認定率、調整済み軽度認定率は、全国平均及び県平均、富士見市、ふじみ野市より低く、調整済み重度認定率は、ふじみ野市より高い現状となっている。

高齢化率の現状にも記載しているが、急激な高齢化が進行し、富士見市及びふじみ野市と比較すると後期高齢者が増加していることが主な原因と考えらる。